

2023年3月期 第1四半期

決算説明資料

2022年8月8日

エンシュウ株式会社

(東証プライム 6218)



INDEX

1. 連結業績サマリー
2. 工作機械事業
3. 部品加工事業
4. 配当予想
5. 参考情報

将来見通しに関する注意事項及び免責事項

本資料に掲載されている情報には、業績予想・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含むものです。当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれら将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

また、本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。

1. 連結業績サマリー：決算説明 要旨

第1四半期 実績

対前年同期比で減収・減益(赤字化)

- ✓ 工作機械事業は、前期にアジア向け大型システム売上の高採算案件があり、反動減により前期比で減収・減益
- ✓ 部品加工事業は、四輪関係の取引先における生産調整の影響や、電力料・物流費等の価格高騰によるコスト負担増など外部環境の悪化影響により減収・減益

業績予想

当初計画通り最終利益750百万円を予想

- ✓ 工作機械事業は、国内の旺盛な設備投資需要を踏まえ、汎用機・サービスの売上増や採算改善を見込む
- ✓ 部品加工事業は、取引先の生産調整および電力料・物流費高騰の影響もあるが、品質コスト低減等により採算改善を見込む
- ✓ 円安効果、年金制度変更による影響や経費削減により、当初計画通りの最終利益を予想
- ✓ 2023年3月期配当予想は、1株当たり26円を予定(変更なし)

トピックス

JIMTOF2022(11月8日～13日) 新シリーズ2機種を発表予定

- ✓ 東京ビッグサイトにて開催される世界最大級の工作機械見本市に出展予定

非内燃機関 受注比率 33.2%

1. 連結業績サマリー：第1四半期連結業績

(単位:百万円)	2021年度 1Q	2022年度 1Q	前年同期比		2021年度 通期実績	通期業績予想 5/13公表	通期修正予想 8/8公表
			増減額	増減率			
売 上 高	5,837	4,842	△995	△17.1%	23,904	30,000	30,000
工作機械事業	2,781	1,939	△842	△30.3%	12,411	17,700	17,900
部品加工事業	3,038	2,885	△153	△5.0%	11,421	12,200	12,000
営 業 利 益 (営業利益率)	193 (3.3%)	△144 (△3.0%)	△338 (△6.3pt)	—	751 (3.1%)	1,250 (4.2%)	1,150 (3.8%)
工作機械事業	△24 (△0.9%)	△258 (△13.4%)	△234 (△12.5pt)	—	142 (1.2%)	350 (2.0%)	400 (2.2%)
部品加工事業	204 (6.7%)	101 (3.5%)	△102 (△3.2pt)	△50.3%	557 (4.9%)	850 (7.0%)	700 (5.8%)
経 常 利 益	140	△90	△230	—	638	1,000	950
当期純利益	25	△181	△207	—	370	750	750

為替レート
(USD/JPY)
(EUR/JPY)

109.0
130.8

124.4
134.4

※ 120.8
※ 131.3

※ 127.2
※ 131.4

2. 工作機械事業：連結売上高・営業利益

第1四半期実績

・アジア向けシステム売上減収、減益

- ・前年同期における東アジア向け大型システムの高採算案件や、欧州の汎用機特需の反動減により前期比で減収・減益
- ・東南アジアや北米地域では前年同期比増収

通期業績予想

・旺盛な設備需要を追い風に通期計画見直し

- ・国内需要の拡大を受け、汎用機の売上伸張を見込む
- ・国内外の展示会に積極的に参加し、JIMTOF2022では新シリーズ2機種を発表予定
- ・サービス体制を拡充し売上拡大
- ・品質レベルの向上、きめ細かい採算管理を実施

(単位:百万円)	2021年度 1Q	2022年度 1Q	前年同期比		2021年度 通期実績	通期業績予想 5/13公表	通期修正予想 8/8公表
			増減額	増減率			
売 上 高	2,781	1,939	△842	△30.3%	12,411	17,700	17,900
国内売上	758	664	△95	△12.5%	3,275	8,894	9,342
海外売上	2,022	1,275	△747	△36.9%	9,132	8,806	8,558
アジア	1,385	632	△752	△54.3%	5,256	4,683	4,846
北米	304	359	+54	+17.8%	2,265	2,663	2,304
欧州	333	284	△49	△14.8%	1,611	1,461	1,408
営 業 利 益	△24	△258	△234	—	142	350	400
営 業 利 益 率	△0.9%	△13.4%	△12.5pt	—	1.2%	2.0%	2.2%

2. 工作機械事業：連結受注高・受注残高推移

・ 更なる拡販に向け、展示会を通じた受注拡大を目指す

当期は自動車関連の設備投資計画の延期や、国内の大型システム案件の失注などもあり、第1四半期の計画としては目標を下回ったが、汎用機は受注高を伸ばすなど引き続き好調な受注環境となっている。

第2四半期以降は、国内外展示会での積極的な営業活動や商社を通じた拡販活動を推し進め、昨年度実績150億円を上回る目標値190億円の受注高を目指す。

(単位:百万円)	2021年度 1Q	2022年度 1Q	増減率	2022年度 目標	【参考】日工会受注推移		
					(単位:百万円)	2022年1Q	増減率
受 注 高 総 額	4,326	2,454	△43.3%	19,000	受 注 高 総 額	463,043	21.9%
国内受注高	1,112	1,152	3.6%	—	国内受注高	161,313	41.6%
海外受注高	3,214	1,302	△59.5%	—	海外受注高	301,730	13.4%
受 注 残 高	6,179	7,744	—	—	自 動 車 (国 内)	36,655	26.2%

2. 工作機械事業：JIMTOF 2022

新たに『S』シリーズを発表！

◇コンセプトは「Saving」

横形30番「SH350」と立形15番「SV130」をリリース！

エネルギー従来比	⇒	横30： 17%、	立15： 25%	Saving
コスト従来比	⇒	横30： 36%、	立15： 26%	Saving
スペース従来比	⇒	横30： 8%、	立15： 32%	Saving

注：横形は従来機種比、立形は廉価版#30機比

◇ヤマハ発動機と ロボット関連の共同展示を予定



3. 部品加工事業：連結売上高・営業利益

第1四半期実績

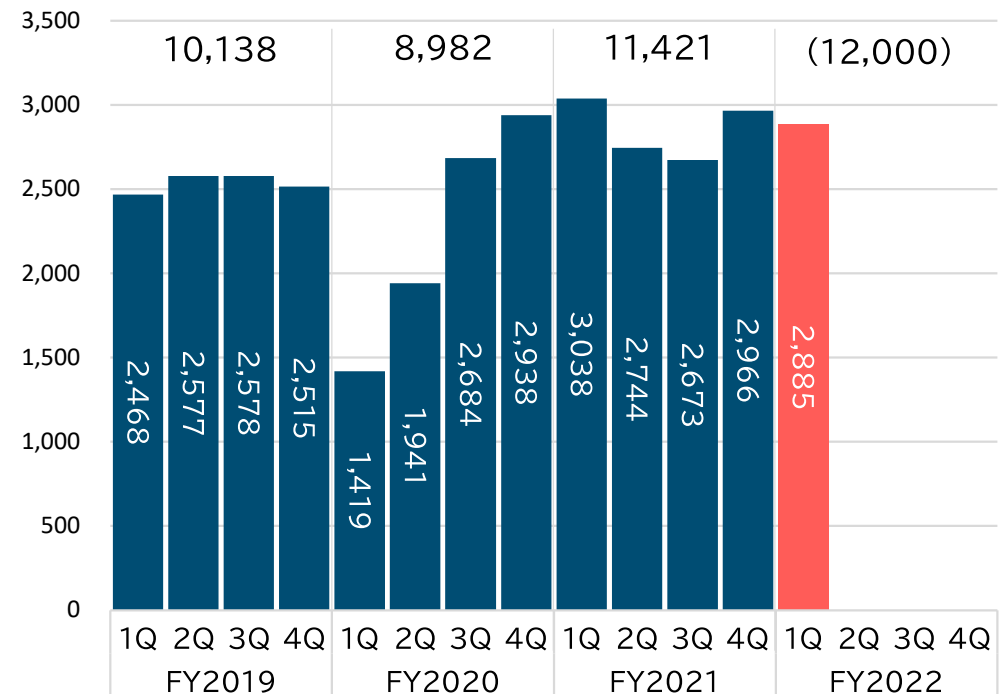
・外部環境の悪化影響により減収・減益

新型コロナウイルス感染拡大等に伴う部品供給不足により、四輪関係の取引先における生産調整の影響や、電力料・物流費等の高騰によるコスト増、急激な生産量変動に対する人員調整困難などの外部環境の悪化影響により減収・減益

通期業績予想

・上期下振れも通期は昨年を上回る計画

上期は外部環境の悪化もあり当初計画を下回るものの、下期は品質コスト低減、エネルギーコスト増の価格転嫁交渉、変動労務費のコントロールにより、当初計画通りに推移し、売上高・営業利益ともに前年度を上回る見込み。



(単位:百万円)	2021年度 1Q	2022年度 1Q	前年同期比		2021年度 通期実績	通期業績予想 5/13公表	通期修正予想 8/8公表
			増減額	増減率			
売上高	3,038	2,885	△153	△5.0%	11,421	12,200	12,000
営業利益	204	101	△102	△50.3%	557	850	700
営業利益率	6.7%	3.5%	△3.2pt	—	4.9%	7.0%	5.8%

4. 配当予想（変更無し）

●普通株式に係る年間配当

2023年3月期末配当につきましては、
通期業績予想を勘案し前期より13円増額の1株当たり26円を予想しております。

基準日	普通株式1株当たり配当金		
	2021年3月期末	2022年3月期末	2023年3月期末 予想
普通配当	円銭 5.00	円銭 13.00	円銭 26.00
配 当 性 向	12.6%	22.1%	21.9%
配 当 利 回 り	0.51%	1.81%	※ 2.88%
D O E (自 己 資 本 配 当 率)	0.3%	0.8%	※ 1.5%

5. 参考情報：会社概要（2022年6月末）

商 号	エンシュウ株式会社
証 券 コ ー ド	東証プライム 6218
設 立	1920年2月5日
本 社 所 在 地	〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888番地
代 表 者	代表取締役社長 山下 晴央
資 本 金	46億4,085万円
連結子会社数	8社（海外8社）
従 業 員 数	1,012名（連結） ※2022年6月末
事 業 内 容	●工作機械及び部品の製造並びに販売 ●二輪車用エンジン・バギー車・雪上車・ゴルフカー マリン及び四輪車の部品加工
決 算 期	3月末
単 元 株 式 数	100株

繋ぐ技術を、世界へ

「我々の技術で、
機械が繋がる、
お客様と繋がる、
社員が繋がる、そして未来が繋がる」

